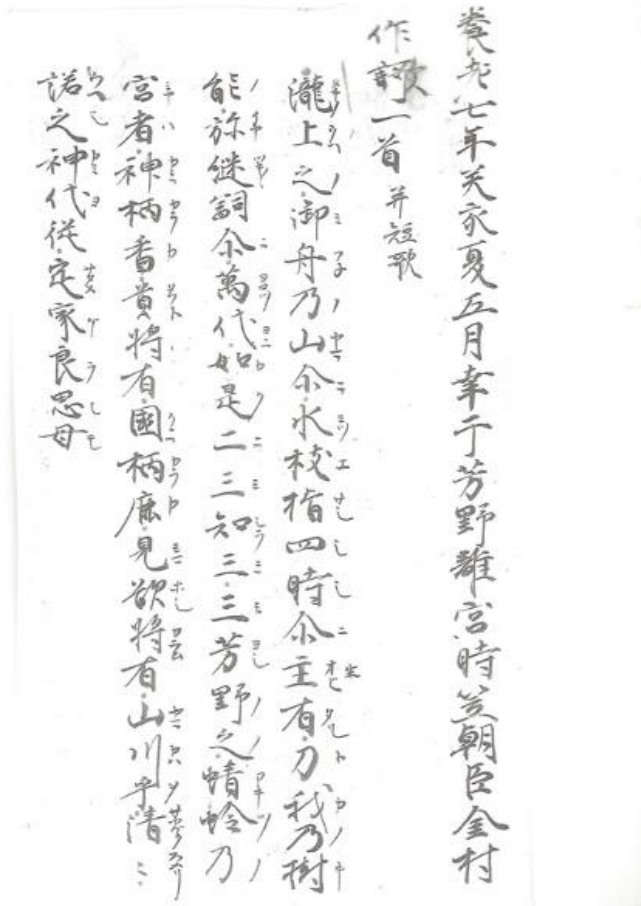


『万葉集』における歌の「発見」

ー 二十巻のテキストがあらしめたもの



「万葉集西本願寺本 卷六巻頭歌」

これまで『万葉集』とは、まず歌があり、それが集められ、構成されたものと考えられていました。しかし、『万葉集』が二十巻で構築したものが、歌の世界をあらしめたのです。自分たちの固有の歌はそこではじめて見出されたという視点から、『万葉集』を全体としてとらえることに向かいます。ひとつひとつの歌の意味や歌人別の特徴を知るだけでなく、『万葉集』そのものを理解し、楽しむ講座です。

講師 神野志 隆光 (こうのし たかみつ)

1946 年和歌山県生まれ。東京大学大学院博士課程中退。東京大学総合文化研究科教授を経て、現在東京大学名誉教授。博士（文学）。著書に、『古事記と日本書紀』（講談社現代新書、1999 年）『万葉集をどう読むか—歌の「発見」と漢字世界』（東京大学出版会、2013 年）など。



開催概要

- 日時：2016 年 5 月 18 日（水）19:00～20:30（18:30 開場）
 - 会場：日比谷図書文化館 地下 1 階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
 - 定員：200 名（事前申込順、定員に達し次第締切）
 - 参加費：1,000 円（千代田区民 500 円 ※住所が確認できるものをお持ちください。）
 - 申込方法：来館（1 階受付）、電話（03-3502-3340）、Eメール（college@hibiyal.jp）いずれかにて
- ① 講座名、②お名前（ふりがな）、③電話番号をご連絡ください。